

主な内容	
一般質問議員と質問事項	1
一般質問から	2・3
主な質疑	3
6月定例会 議案等審議結果一覧	3
正副議長交代、委員会等構成変更	4
6月臨時会	4



那須烏山市 Nasukarasuyama City

# 議会だより

発行  
那須烏山市議会  
編集  
議会広報委員会  
事務局  
☎0287-88-7114



みんなで組体操 (6月8日 境小学校運動会)

6月定例会が6月4日(火)に招集され、6月10日(月)までの7日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は3ページに掲載しております。  
\*なお、議決された議案等の内容など、詳しくは「広報那須烏山第94号」をご覧ください。

## 一般質問議員と質問項目(質問順)

**1 市長の政治姿勢について**  
2 地籍調査事業の実施について  
3 通学路対策について



水上 正治 議員

**1 災害情報の周知徹底をどう図るか**  
2 公共施設の再編整備計画の内容について  
3 烏山線沿線の整備及び観光振興対策について



渡辺 健寿 議員

**1 家読(うちどく)の取り組みについて**  
2 障害者優先調達推進法について  
3 GISの導入について(共同空間データベース)  
4 ホームページについて



渋井 由放 議員

**1 梨農家の低温被害に対する救済について**  
2 風疹予防接種の助成について  
3 七合保育園の新築について  
4 七合小南入口進入路の拡幅について



田島 信一 議員

**1 冷害により被害を受けた梨栽培農家およびその他の農作物の被害状況と支援策について**  
2 住宅建設等関連条例の周知及び運用と定住促進の現状について  
3 防災計画に位置付けられた施設への再生可能エネルギー等の補助事業について  
4 道の駅構想について  
5 JR烏山線沿線整備および観光振興対策について



久保居 光一郎 議員

**1 本市の人口減少対策について**  
2 街路灯、防犯灯のLED化推進と支援について  
3 認知症対策について  
4 子育て支援について  
5 大口滞納対策について  
6 ねりんピック栃木について  
7 日本国憲法96条改定問題について



平塚 英教 議員

**1 七合中学校跡地のメガソーラー発電所の進捗状況について**  
2 小川大金停車場線と谷浅見平野線の交差点の改良について  
3 国体誘致と施設整備について  
4 那須烏山市庁舎計画について  
5 城東地区の災害対策について



小森 幸雄 議員

※赤太字になっている項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容が掲載されていますので、そちらもご覧ください。

## 議会の動き

平成25年4月

27日 ○議会だより第29号発行

### 5月

22日 ○経済建設常任委員会による凍霜害の現地調査

### 6月

28日 ○議会運営委員会  
○議員全員協議会  
○学校給食センター建設工事及び公共工事調査特別委員会

### 6月

4日 ○議員全員協議会  
○議会運営委員会  
○第3回定例会(10日まで)

### 6月

6日 ○議員全員協議会  
○文教福祉常任委員会  
○行財政改革特別委員会

### 6月

10日 ○議員全員協議会  
21日 ○議員全員協議会  
○行財政改革特別委員会

### 7月

24日 ○議会運営委員会  
○議員全員協議会  
○第4回臨時会

### 7月

9日 ○3常任委員会合同視察研修  
11日 ○議会広報委員会  
○学校給食センター建設工事及び公共工事調査特別委員会

### 7月

17日 ○議会広報委員会  
22日 ○議員全員協議会  
○行財政改革特別委員会

# 平成25年6月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。  
会議録は市立図書館及び市ホームページで  
閲覧できます。

## 市長の政治姿勢 について

水上 正治 議員

(問) 大谷市政2期目も残りわずかであるが、4年間の総括を伺う。

◎市長 平成21年に就任した2期目は、引き続き教育・福祉・医療・保健など市民の生活優先を基本に、総合計画の着実な推進、経済危機・健康危機への適切な対応、地方分権改革の推進を市政の柱とした。これに基づき順調に各種施策を展開してきた矢先に発生したのが東日本大震災である。このため中盤の2年間は、震災対応、放射能対策、安全安心対策に全力を注ぐなど波乱含みの2期目となったが、一つひとつの政策課題を着実に推進してきたつもりである。今後は、公共施設再編整備計画の策定を進め、総合計画後期基本計画の実現に取り組みたい。

(問) 次期市長選に出馬する意向があるのか伺う。

◎市長 震災の影響でやり

残した施策もあり、新たな政策課題も出ている。幸い健康にも恵まれ、支援の声もあることから、引き続き市政を運営できるよう最善の努力をしたい。

## 烏山線沿線の整備 及び観光振興 対策について

渡辺 健寿 議員

(問) 検討委員会の答申内容及び花公園地地域座談会の経過について伺う。

◎市長 3月末に提出された答申の内容は①大金駅周辺整備事業では仮称総合観光案内所の建設など。なお観光物産センター跡地の施設については再検討を依頼した。②JR烏山線開業90周年事業は絵画展、写真展、横断幕の掲示、記念パレード(山あげ祭の7月27日実施)など。③駅周辺の花公園化事業は小埜駅西水田のヒマワリ畑整備と烏山駅・大金駅構内のプラント設置。④観光PR事業ではPR動画の配信、メディアの活用、イメージキャラクターグッズの製作など。いずれも実現に向けて努力する。



山あげ祭時に運行される特別編成車両

花公園地の地域座談会においては、地権者より懸念される意見もあったが、先進地視察等を関係者、機関、団体と共に実施し、技術的対策、ノウハウを確認し、再度の説明会でおおむね賛同を得られた。

なお、JR東日本では来春の蓄電池駆動電車の運行に伴い、烏山駅のホーム、駅舎の整備予定がある。

## 障害者優先調達 推進法について

渋井 由放 議員

(問) 国等による障害者就業・労務等からの物品等の調達の推進等に関する法律(障害者優先調達推進法)について12月と3月定例会で一般質問をしたが内容が固まっていなかった。

この法律は平成25年4月1日施行で国等(地方公共団体含む)は障がい者就業施設等の受注機会の増大を講ずるよう努める責務があり調達方針を策定して公表し調達を行い調達実績を公表することとなっている。

当市はどのような対応をしているのか伺う。

◎市長 調達方針を今月中に作成し、庁内において法律の趣旨、概要等の周知徹底を図り方針に基づき障がい者就業施設等への優先発注を進めていく。

今年度からは市立の幼稚園、保育園ですなる作業所の粉石けんの調達を予定しており、学校等への導入についても検討していく。

あすなる作業所及びパン



あすなるのつくる環境にやさしい石けん

## 本市の人口減少 対策について

平塚 英教 議員

(問) 市総合計画後期基本計画は2017年度の目標人口について3万人維持を努力目標としているが国立社会保障人口問題研究所の人口推計では今後、大幅な人口減少と高齢化が予想されている。人口減少は交付税の削減、税収の減少に直結し、高齢化は医療や介護負担が自治体財政を圧迫する。したがって行政運営も今までの延長線上の考え方でなく、縮小社会を現実を踏まえた対応が必要だ。限界集落の拡大等、超高齢化社会が進む中で本市としてどのような人口減少対策と事業を展開されるのか。

◎市長 人口減少対策は市政の最重要課題の一つ。後期計画では総合的な定住支援と企業誘致に積極的に取り組むことで雇用を確保し、市営住宅整備も含め、定住促進に努めたい。

国・県の有利な補助事業を活用し、各種施策を着実に展開しながら、知恵と協

働のまちづくりを推進し、教育、福祉、医療、子育ての面からも人口減少対策を図ってまいりたい。

## 観光について

川俣 純子 議員

(問) 観光について、市内の各地域主催のホタル祭や、そば祭の時に、送迎、巡回バスは出せないのか伺う。

◎市長 地域における各種事業は、交流人口の増加にもつながっており、市としても可能な限り支援したい。

市の事業であれば市有バスの運行ができるので、官民協働事業の観点から、公民館活動、生涯学習事業などと連携して、前向きに検討していく。

(問) 市内には多くの画家や陶芸家が在住している。それらの活動を支援し、作品の常設ができるスペースを整備できないか。

◎市長 市内には陶芸家の瀧田項一氏、和紙工芸の黒羽敏夫氏をはじめ多くの芸術家が在住している。展示の施設は充分とは言えない



瀧田項一氏作の陶板壁画(旧七合中)

ので新たな公共施設に常設のスペースを検討していく。

(問) 旧七合中学校にある瀧田氏の陶板壁画の移転先は決まっているのか。

## 梨農家の低温被害 に対する救済 について他

田島 信一 議員

(問) 4月下旬の霜、低温で多大な被害を受けたが、梨農家に対する救済はどの様に考えているのか伺う。

◎市長 県では県農漁業災害対策特別措置条例を適用、病害虫防除用農薬購入費及び樹草勢回復用肥料購入費の補助、災害経営資金の利子補給の助成が受けられることになった。

本市単独では支援も限られるので国・県・JA等関係機関と連携し、さらなる支援を検討する。

(問) 風疹の全国的流行を受け本市でも予防接種希望者に対して助成を強く望むが市の考えを伺う。

◎市長 県内でも例年以上の患者が出ている。妊婦は、予防接種の機会がなかった年齢層では、予防接種を受けるなど感染予防対策が必要。県内では6市2町が既に予防接種助成を実施している。本市も7月を目安に早急に医療機関と調整を進め、助成額は麻疹、風疹、混合ワクチン接種費用の半額程度の5千円とし、今年

4月以降に予防接種した対象者までさかのぼり助成する考えである。

## 住宅建設等関連 条例の周知及び 運用と定住促進 の現状について

久保 居光 一 議員

(問) 本市には住宅建設等と震災及び災害支援等を含め12の条例・規程がある。これらの情報はすでに市の広報やホームページで周知されていると思うが、建設等関連業者や市民にどれだけ周知されているのか疑問を感じている。

私は以前、定住促進を推進するために各所管課が連携を図り多くの市民に周知されるよう進言したが、その後の対策について伺う。

◎市長 これらの制度は所管する部署が異なるので説明会を開催した。また現在は住宅建設及び災害関連の補助・助成制度を纏めたパンフレットを作成中である。

(問) 従来の周知手法だけで市民に周知を図ったと看過してはならない。

◎市長 これらの補助・助成制度が多く市民に周知され活用されるには建設関連業者だけでなく、金融機関や商工会との連携も考えてはと思うがいかがか。

◎市長 私も同感である。行政は縦割りと言われて久しいが未だ解消されていないのが現状。全市民に周知徹底されるよう努力したい。

### 城東地区の災害対策について

小森幸雄議員

(問) 国土交通省が管理する那珂川の災害から市民を守るべく「烏山の災害に強いまちづくりを考える議員の会」を設立し現場視察や各地域の皆様との意見交換会を実施した。

平成24年7月には「城東地区の災害対策についての提言書」を市長に提出をした。今後どのような整備計画があるのかを伺う。

◎市長 那珂川が増水するとしばしば冠水する事態で憂慮している。

平成23年9月の台風15号災害の教訓、「烏山の災害に強いまちづくりを考える議員の会」の提言、さらには地元城東自治会からの要望を受け、本市だけでなく那珂川上流改修期成同盟会とも連携し粘り強く要望活動を進めてきた。

その甲斐があり、堤防未整備区間約63㌔は工事中であるがほぼ完成し、排水機場は国土交通省が0.32立法毎毎秒の排水ポンプを設置する予定になっている。操作や維持管理は排水樋門と同様に当市で対応することと協議を進めている。



ポンプを設置する予定の排水機場

### 主な質疑

6月定例会での、議員質疑の中から主なものを要約して掲載しています。会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。

#### 平成24年度一般会計繰越明許費繰越計算書について

議員 小学校教育振興費の事業内容等はどのようなものか。

学校教育課長 七合、荒川小学校が対象で顕微鏡電子天秤等の理科教材の備品を購入する。

議員 過疎集落等自立再生緊急対策事業500万円は大木須里山を愛する会の活動の中で、古民家の納屋の改修に充てる費用とのことであるが、この後もつと予算が付くのか。

総合政策課長 母屋等の保護、改修は有利な補助事業があるのではないかと。いうことで調整中である。地元負担も出るので、その辺を加味して今後具体的に詰めていきたい。



地域拠点として整備される古民家

#### 専決処分の報告(損害賠償の額の決定及び和解について)

議員 U字溝のグレーチングが外れ、車が傷ついたとのことだが、どんな再発防止策が図られたか。

商工観光課長 車を通る箇所はグレーチングを外し、塩ビ管を入れコンクリートで舗装した。また、施設の点検を徹底する。

#### 専決処分の承認(平成24年度補正予算について)

議員 衛生費の災害廃棄物処理促進費用補助金が843万4千円増額になった。どのような経緯で増額になったのか。

環境課長 想定外に震災のがれきがふえた。合計で平成24年度は3268トンの処理をした。

議員 居宅介護住宅改修費は1件の限度額は、健康福祉課長 介護認定を受けた方が住宅を改修する場合、限度額は20万円である。

議員 財政調整基金と市有施設整備基金は、今現在いくらあるのか。また積立の目的は何か。

総合政策課長 財政調整基金が21億7068万1千円、市有施設整備基金が10億435万9千円である。

る。財政調整基金は通常の財源不足等に対応するため。市有施設整備基金は公共施設の整備のための積立金である。

#### 平成25年度補正予算について

議員 下江川中学校の施設整備費2670万円、烏山中学校の施設整備費4千万円と大幅増額になった内容を伺う。

学校教育課長 当初は市の単独事業を想定していたため、最低限の計上だったが、国庫補助事業に採択された。全面的に校庭の排水工事を行い生徒の体育活動等が効率的にできるように対応したい。

議員 消防水利施設整備費は防火水槽の整備だと思いがどこにつくるのか。

危機管理室長 大桶・熊田・藤田を予定している。

議員 市債償還元金1030万3千円が計上されているが、なぜ6月に元金の償還が発生したのか。

総合政策課長 東日本大震災で特定被災地公共団体に指定された場合、過去に利率4%以上で借入した起債の繰り上げ償還が認められることになったため予算措置した。これにより利子が42万704円軽減される。

### 6月定例会 議案等審議結果一覧

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																
		田島信二	川俣純子	渋谷由放	渡辺健寿	久保居光一郎	高徳正治	佐藤昇市	板橋邦夫	水上正治	平山進	佐藤雄次郎	小森幸雄	滝田志孝	高田悦男	中山五男	平塚英教	樋山隆四郎
議案第4号 専決処分の承認を求めることについて(平成24年度一般会計補正予算(第7号)について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第5号 専決処分の承認を求めることについて(平成24年度介護保険特別会計補正予算(第4号)について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第6号 専決処分の承認を求めることについて(市税条例の一部改正について)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第7号 市税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第8号 国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第1号 平成25年度一般会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	●
議案第2号 平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○
議案第3号 平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○

※ 掲載は上程順 ※ 議長(佐藤雄次郎議員)は表決に加わらない

### 6月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第1号	年金2.5%の削減中止を求める陳情	なし	継続審査
陳情書第2号	「教育費無償化」の前進をもとめる陳情	なし	不採択
陳情書第3号	「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる陳情	なし	継続審査
陳情書第4号	宇都宮地方法務局烏山支局の存続を求める意見書の提出を求める陳情	なし	採択

### 6月定例会の本会議日程と傍聴者数

日程	内容	傍聴者数
6月5日(火)	開会・上程・採決・付託	4人
6月6日(水)	一般質問	14人
6月7日(木)	一般質問	18人
6月10日(月)	報告・採決・閉会	2人
	計	38人

### 正副議長交代、委員会等構成変更

6月定例会初日に中山五男議長及び高德正治副議長が辞職したことに伴い選挙が行われ、新たに正副議長が選出されました。

**議長 佐藤 雄次郎**

**副議長 佐藤 昇市**

また、委員会等の構成に変更がありました。

◇議会運営委員会

**委員長 平山 進 副委員長 樋山 隆四郎**

◇行財政改革特別委員会

**副委員長 高德 正治**

◇南那須地区広域行政事務組合議会議員(定員6名)  
中山五男議員が辞職し、**佐藤雄次郎議員**を選出。

### 議長就任あいさつ

6月市議会定例会におきまして、多くの議員の皆さまからのご推挙により議長に就任させていただきました。誠に身に余る光栄に存じますとともに、その責任の重大さを痛感しているところであります。

さて、誕生して約8年になる当市ですが、少子高齢化をはじめ、財政問題、地域経済の低迷など課題は山積しております。これらの課題の市民の立場に立った解決を図るべく「執行部とは一歩離れ、二歩離れない姿勢」で、公正公平な議会運営に努めて参ります。

申し上げますまでもなく、議会議員は市民のみならず、議会の代表であります。このことを常に念頭に置き、より開かれた議会を目指し、那須烏山市の発展のために尽力して参りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。



**第6代議長 佐藤 雄次郎**

### 6月臨時議会

6月臨時議会が6月24日(月)に招集され、1日の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は左記のとおりです。

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																	
		樋山	平塚	中山	高田	滝田	小森	佐藤(雄)	平山	水上	板橋	佐藤(昇)	高德	久保居	渡辺	渋井	川俣	田島	
議案第1号 市長、副市長及び教育長の給料の臨時特例に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号 職員の給料の臨時特例に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号 市議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席 ※掲載は上程順 ※議長(佐藤雄次郎議員)は表決に加わらない。

### 主な質疑

**議員** 何を基準として削減率を決めたのか。

**総務課長** ラスパイレス指数が100以下になるように定めた。

**議員** 地方交付税の削減額はいくらか。

**総合政策課長** 試算では減額は約7千万円だが、最大2400万円別枠での交付が見込まれる。なお、今回の給料削減措置により約4500万円の財源が確保できる。

**議員** 国家公務員は55歳から昇給を停止するが、当市の対応は。

**総務課長** 現在、55歳昇給停止は行っていないが、上がり幅を抑制している。今後、国の制度改正を受けた人事院勧告が出れば、これを踏まえて検討する。

**議員** 期末手当などの各種手当も削減の対象か。また、年金への影響は。

**総務課長** 削減の対象はいわゆる給料月額のみ。年金は生涯賃金に基づき算定されるので減額の影響を受けると思われる。

**ラス・パイレス指数**：国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示した指数

### 経済建設常任委員会

農産物における降霜・低温被害の視察調査報告

はじめに、農作物の被害を被った農家の方々に對しまして心からお見舞い申し上げます。経済建設常任委員会は去る5月22日、4月の異常気象により被害にあつた梨栽培農家及びリンゴ・ぶどう栽培農家の被害状況を把握するため、市内の梨栽培農家2カ所とリンゴ・ぶどう栽培農家各1カ所の視察調査を行いました。

特に被害が大きかったのは梨栽培農家であり、農園主とともに各委員が現場の被害状況を調査致しました。その被害の概要は、開花期であつた4月中旬から下旬における降霜・低温の被害により多くの花が枯れてしまい収穫時期を迎えても果実が実らないという悲惨な状況でありました。

本委員会は、今後とも議会との連携を図り、被害の実情を把握するとともに被害を受けた農家救済のため、市に對してあらゆる支援策を要請して参りたいと考えています。

**委員長 久保居 光一郎**



梨の被害を確認する委員

### 表彰

5月に東京都で開催された第89回全国市議会議長会の定期総会において、永年勤続議員等の表彰がありました。

▽正副議長4年以上  
**水上 正治 議員**

▽議員10年以上  
**水上 正治 議員**  
**平山 進 議員**  
**佐藤 雄次郎 議員**

また、同会の理事を勤めた中山五男議員に感謝状が贈られました。

### 意見書提出

6月定例会での決定を受け、「宇都宮地方支局烏山支局の存続を求める意見書(陳情書の採択に伴う意見書)を関係行政庁へ提出しました。

### あとがき

原発事故を想定した県内初の防災訓練が県主催で6月24日に本市烏山公民館とその周辺で実施されました。訓練には県や各市町関係者、市内自主防災組織や市民、消防、警察、医療関係者、日本原子力研究開発機構など約200人が参加しました。訓練は茨城県で大規模な地震が発生、東海第二原発からの放射性物質の放出を想定。原法に基づき原子力緊急事態が発生し、災害対策本部を本市烏山公民館に設置したとするものでした。屋内退避指示での、広報車の避難誘導のほか、体育館では避難者の放射能測定検査や診断、救急車搬送、野外での空間放射線量測定などの訓練を実施しました。

原子力規制委員会は原子力事故発生時の災害対策重点区域を原発の半径30キロ圏内としましたが本市は東海第二原発から32キロしか離れていません。福島第一原発で言えば飯館村と同じ距離です。国は一転原発推進の方針を強めています。本市は原子力災害対策指針を踏まえて、最悪の事態を想定した防災マニュアルと対策や訓練の必要を実感しました。

(平塚 英教 記)